

## 発達障害のある子どもの理解と支援

～インクルージョンと合理的配慮の時代の到来を迎えて～ 後期

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも  
お申込みできます

期 間：2024年10/3(木)～12/5(木) [全10回]

場 所：尚綱学院大学地域連携交流プラザ

〒981-1294 名取市せきのした5-3-1

(イオンモール名取あおばコート3階)

時 間：13:30～15:00

対 象 者：特別な配慮を要する子ども(たち)の子育て・保育・教育に関心のある方。

教 材：毎回、講師準備のプリントを配布します。

修了要件：80%以上出席した方に修了証を発行予定です。

定 員：20名

最少催行人数：8名

受 講 料：13,000円

## 受講生へのメッセージ

講義では、特別な配慮を要する子どもを理解し、支えようとする時の大切にするべき視点、考え方について学ぶ機会としています。「抱えている具体的な問題に対する解決策、処方箋」を期待する方にはご満足いただけないかもしれませんが(尚綱学院大学子ども支援センターのような問題解決のための専門機関を紹介することになると思います)。共に学び、考えましょう。

日程	テーマ・内容	講 師
第1回 10/3	1) 後期の講義内容の説明 2) ADHD(注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害)の理解と支援① まず、ADHDの子どもたちが示す多様な特徴について理解を深めます。	小松 秀茂
第2回 10/10	<ADHDの理解と支援②> ADHD(注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害)の子ども の保育・教育において求められる配慮について考えます。	尚綱学院大学 名誉教授
第3回 10/17	<LDの理解と支援①> LD(限局性学習症/限局性学習障害)について理解を深めます。	
第4回 10/24	<LDの理解と支援②> LD(限局性学習症/限局性学習障害)の子ども の教育において求められる配慮について考えます。	
第5回 10/31	知的障害の理解と支援① 「知的障害」について理解を深めます。	
第6回 11/7	知的障害の理解と支援② 「知的障害」の子ども の保育・教育において求められる配慮 について考えます。	
第7回 11/14	<重い障害を持つ子ども たちの理解と支援> 特別支援学校での実践例 に学びます。	
第8回 11/21	視覚障害、聴覚言語障害、 肢体不自由、情緒障害等 の理解と支援について理解 を深めます(①)。	
第9回 11/28	視覚障害、聴覚言語障害、 肢体不自由、情緒障害等 の理解と支援について深め ます(②)。	
第10回 12/5	<まとめにかえて> 1)「表現」をキーワード に障害児保育・教育にお いて大切にすべきこと について考えます(事例 紹介)② 2)「障害」を理由に排 除されることのない社 会に向けての「イン クルージョン」と「合 理的配慮」の考え方 に学びます。	

発達障害のある子どもの理解と支援

～インクルージョンと合理的配慮の時代の到来を迎えて～

後期